

株主・投資家の皆様とのかかわり

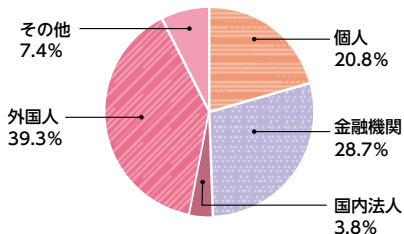
考え方・基本姿勢

大和証券グループは、株主・投資家とのコミュニケーション促進を心がけています。株主・投資家とのより良いコミュニケーションを推進し、わかりやすい情報の提供に努めます。

株主構成

所有者別分布状況 (2016年3月末現在)

発行済株式総数：17億4,937万8,772株



配当政策

大和証券グループ本社では、配当政策において半期ごとに配当性向を「30%程度」としておりましたが、2016年3月期の配当より、より一層の株主還元を図るため、目標とする配当性向水準を「40%程度」へ引き上げることになりました。以下は、変更後の配当政策です。

配当政策

大和証券グループ本社では、利益配分を含む株主価値の持続的な向上を目指しています。配当については、中間配当および期末配当の年2回を基本とし、連結業績を反映して半期ごとに配当性向40%程度の配当を行なう方針です。ただし、安定性にも配慮したうえで、今後の事業展開に要する内部留保を十分確保できた場合には、自社株買い入れ等も含めてより積極的に株主への利益還元を行なう方針です。

株主・投資家の皆様とのコミュニケーション

株主との直接的なコミュニケーションの場である株主総会には、毎年多くの方々にご参加いただいています。

また、コミュニケーション機会を増やすため、決算発表当日のテレフォン・コンファレンス、個

人投資家向け会社説明会、経営戦略説明会やアナリスト・機関投資家等との1on1ミーティングの実施、大和インベストメント・コンファレンスへの参加(東京、香港、ニューヨーク)など、さまざまなIR活動を実施しています。

そのほかIRサイトでの情報開示の充実、統合報告書やビジネスレポート(株主向け冊子)の発刊などを行なっています。株主の皆様へ、正確でわかりやすい情報発信を今後も追求していきます。

株主アンケートの実施

株主の声を、経営やIR活動の参考とするため、「株主アンケート」を例年9月末の株主優待時に実施しています。集計結果は、株主優待制度の満足度向上などにつなげるとともに、事業活動に役立てていきます。

2015年9月末株主優待時のアンケート質問項目

- ・当社株式を最初に保有した時期
- ・当社株式を取得した理由(複数回答可)
- ・今後の拡充を望む情報開示やコミュニケーション活動(複数回答可)
- ・次回の株主優待で拡充してほしい商品(複数回答可)

株主優待制度

当社は、株主の皆様への日頃の感謝の気持ちを込めて、10年以上にわたり、株主優待を実施しています。2008年3月末の優待からはカタログ制度を導入し、3月末と9月末の年2回の株主優待時に、名産品や寄付、『会社四季報』、「ダイワのポイントプログラム」交換ポイント等からお選びいただくことができます。さらに、3月末の株主優待においてはご希望の方にカレンダーを進呈しています。

2015年度の取組み

●「新中計」をはじめとした新情報の発信

「貯蓄から投資へ」の流れが本格化するなかで、当社グループの企業価値向上に資する積極的な情

株主構成 (2016年3月末現在)

- ・外国人 **39.3%**
(前年度末より6.0ポイント減少)
- ・個人 **20.8%**
(前年度末より2.6ポイント増加)

Web

株式情報

Web

株主・投資家情報

報発信を行ないました。たとえば、決算発表や経営戦略説明会、ビジネスレポート等を通じ、前中期経営計画の総括や、新中期経営計画の説明等、効率的・効果的な情報発信を実施しました。

●コーポレート・ガバナンスに係るIR業務の拡充

海外IRでは投資家ごとに効果的なIR活動を実施しています。たとえば機関投資家の議決権行使担当者にはガバナンス体制の説明等によるコミュニケーションを行なっています。また、大和証券の支店等で開催する個人投資家向け会社説明会にも力を入れています。インターネットライブセミナーによる個人投資家向け会社説明会も実施し、多くの方々にご参加・ご視聴いただきました。これらの説明会では、個人投資家の皆様との今後のコミュニケーションに活かすため、質疑応答やアンケートを実施しさまざまなご意見を頂いています。

●株主還元強化

当社グループでは、「財務健全性の堅持」「資本効率の向上」「株主還元の強化」の最適バランスを図り、持続的な企業価値向上を目指すことを資本政策の方針としています。2015年度には、より一層の株主還元を図るため、目標とする配当性向水準を「40%程度」へ引き上げたことに加え、資本効率の向上を通じて株主の皆様へのさらなる利益還元を図るために、自己株式の取得を行ないました。

情報開示

当社グループは、情報開示に対する基本的な考え方を定めた「ディスクロージャー・ポリシー」を制定し、公正かつ適時・適切な情報開示に取り組んでいます。

●ディスクロージャー・ポリシー

証券業に携わる企業として、他の上場企業の手

本となるような情報開示を目指し、財務情報に加え、財務的な数値に短期的には表われない社会的・環境的側面の非財務情報についての開示も強化してまいります。

ディスクロージャー・ポリシー

- 当社は、株主・投資家、地域社会を始めとするあらゆるステークホルダーの当社に対する理解を促進し、その適正な評価のために、当グループに関する重要な情報(財務的・社会的・環境的側面の情報を含む。)の公正かつ適時・適切な開示を行います。
- 当社は、金融商品取引法、その他の法令及び当社の有価証券を上場している金融商品取引所の規則を遵守します。
- 当社は、内容的にも時間的にも公平な開示に努めます。
- 当社は、説明会、電話会議、インターネット、各種印刷物を始めとするさまざまな情報伝達手段を活用し、より多くの投資家の皆様に関わりやすい開示を行うよう努めます。
- 当社は、情報開示にあたって、常に証券市場を担う立場にあることを意識し、他の株上市場企業の模範となるよう努めます。
- これらの精神を実現するために、当社はディスクロージャー規程を制定し、ディスクロージャー委員会の設置や当グループの情報開示の方法等を定めています。

2015年度の海外IR活動 実施件数

- ・北米IR **3回**(面談約30件)
- ・欧州IR **2回**(同約30件)
- ・アジアIR **3回**(同約25件)

支店およびインターネットライブセミナーによる個人投資家向け会社説明会の開催回数および参加者数

- ・支店での開催回数 **9回**
- ・インターネットライブセミナー開催回数 **2回**
- ・参加者数合計 **約2,400名**

自己株式の取得

- ・取得期間：**2016年2月17日～2016年3月9日**
- ・取得株式総数：**2,700万株**
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合：1.57%)
- ・取得価額総額：**185.85億円**

インターネットライブセミナーによる個人投資家向け会社説明会(2016年3月)



個人投資家向け会社説明会資料

